井原議員（広志会）

平成 28 年９月 27 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）フレキシブルスクール校舎建設の広島市の予定価格積算について

県が市と連携をして事業を行うことについて，一定程度の金額を決めてこれで事業規模を確定させながら，広島市が中心になってこの事業を行うということです。ということは，当初の予算を決めて，それで異常値をつくってしまった市はどういう責任をとるのですか。

ただ単純に積算ミスですよ，積上げがまずかったですよという話ではないと思います。

建築費の１割も１割５分も，２割もですよ。ミスをするようなこんな積上げを我々は黙って補正という形で納得するというのは非常に難しいと思いますが，いかがでしょうか。

（答）

今回の件でございますが，広島市に関しまして，我々として基本設計段階から十分に連携をし，そしてまた，土木建築局と十分に連携をするということが足りなかったと考えております。基本的にはしっかりと当初から連携をして設計費，単価の概算を出す部分においても十分連携をして求めるべきだったと考えております。